

工房

夢来夢来

む く む く

かわらばん

住所： 第10号 平成10年 2月26日発行
狭山市狭山台4-25狭山台南小学校内
☎ 56-5364
発行責任者 田内 勝枝

夢来夢来とわたし

毎週金曜日。一年五ヵ月前から私のスケジュールに組み込まれ、今も続いています。

手足に障害のある方と接するのは初めてぐらいだったので、当初は他の人がやっているのを見ていました。車椅子を押すこと・トイレの介助・織物で横糸を糸巻きに巻きつけることなどのお手伝いをします。

今までに籐のお雛さま・保険証入れを作りましたが、牛乳パックを利用したツール作りが作業の中心となっています。

私は、縫い物が苦手なのでツールの中布・表カバー縫いは他の専門家におまかせして、もっぱら牛乳パック開き・組み立てという前段階のところを担当しています。いわゆる力仕事ですね。

なんと言っても楽しいのはおしゃべりです。毎週いろんな方が顔を見せては作業を一緒にやったり、お話をしていきます。それからいままで私には縁のなかった地元の農家のことや作物作りのことなどを知ることができ、この狭山が身近に思えてきました。

最近、心にひびいたこととお話して筆を置きます。その方は、突然の病気発生を手放して誰はばかること無く、時には涙を見せて嘆き悲しんでいました。いつも私はその方のお話をただ聞いているだけでした。そのうち、同じ病気を克服された方が度々見えました。その方に触発され、勇気づけられ自分も頑張ろうとお思いになったのではないのでしょうか、再リハビリを受けられることになったのです。このような出会いもあるんですね。

阿部 陽子

「一言」

人は、その「一言」で勇気づけられたり、やさしい気持ちになったり、また、反対に、傷付いたり、気分を悪くしたりするものである。私は、と言うと、その「一言」で奮起させられた経験がある。娘の入学式に新調した和服を着たいと思い、今は亡き姑に着せてもらった。その時の事である。「全くあなたは、イヤになってしまう。かかしなんだから・・・」私がただ立っているだけだと言うのである。痛烈な「一言」である。

「私の母はただ立っていても黙って着せてくれました。」私は心の中で呟きながら着せてもらいました。この言葉がなかなか頭から離れず、「よし、着付けを習おう！」そして即実行しました。6ヶ月通っても上手に着る事ができません。更に6ヶ月習いました。すると欲がでてきて、今度は娘の成人式に母親の手で着せてあげたいと思い、都内まで通い始めました。パートをしながらの勉強は色々困難もありましたが頑張りました。

更にここまで来たのだから今度は人様に着せてお金を戴ける様に頑張ろうと思いました。そして更に勉強を続け、習い始めて3年半、自分は勿論、振り袖でも留袖でも自信をもって着せられる様になりました。おかげで着せる事だけでなく着物全般の知識も身につけ、亡き姑の「一言」がなかったらここまで続けられなかったので、「一言」にととても感謝しています。少し残念なのは私のステキな着物姿を見てもらえなかったことです。

何時も暖かい心を持っていれば、相手を傷つけたり、怒らせたりする事はないと思います。私もそんな暖かい「一言」を抵抗なく言える様になりたいと思います。

時田 孝子

「笑顔は人を幸せにしてくれる」そんな心に浸ったのは、夢来夢来のみなさんとの出会でした。

どんなハンディにもめげないでボランティアの方と一緒に励んでいる姿、そこには笑顔楽しい語たらいと製作への時間が流れていました。

なにかに人間が輝いている姿はどんな時も、感動を与えてくれます。

今、台南小の子どもたちがいろいろな事を学んでいます。

昇降口の段の所で車椅子を持ったり、トイレで押したりする中で、たくさんの「ありがとうございます」の言葉をいただいています。

「お手伝いして、とっても嬉しい気持ちになったよ。」と・・・

最初は勇気がいるけど、行動することの大切さも体験しています。

また、パソコン、機織りを教えていただいたり、ひなまつりにおよばれたりしています。このような交流会がもっと多くできたらいいなあと思います。

そんな中で思いやりの心、命を尊ぶ心が芽生えてくるのじゃないかと・・・

子どもたちにもう一度自分の心を、見つめる空間を与えてくれているような気がします

神津 悦子



水曜ニュースあれこれ

水曜日は、1週間の真ん中。都合のつくボランティアも多く、障害者約9名、ボランティア約10名が、常時出席しています。

ボランティアの中には、機織り、洋裁、手編みの指導者が含まれているので、心強い1日です。

1・機織りでは、中型3台、小型2台の機織りを駆使して、テーブルセンター・マフラーポシェット・など障害者でも扱える様指導して戴いています。

2・視覚障害者は編み物に積極的に取り組んでいます。
足カバー・アクリルタワシなどどんどん出来上がっています。

3・ワープロを身に付けたいと頑張る人が多くなって、指導者1人に対して生徒3人~4人なので大変だけど嬉しい悲鳴です。

4・料理好きのボランティアが多く（作る方、食べる方も）昼にはあれこれ教わりながらレストランと見まちがうばかりの料理に舌鼓みを打つこともしばしばです。

文化刺繍をやっています・・・

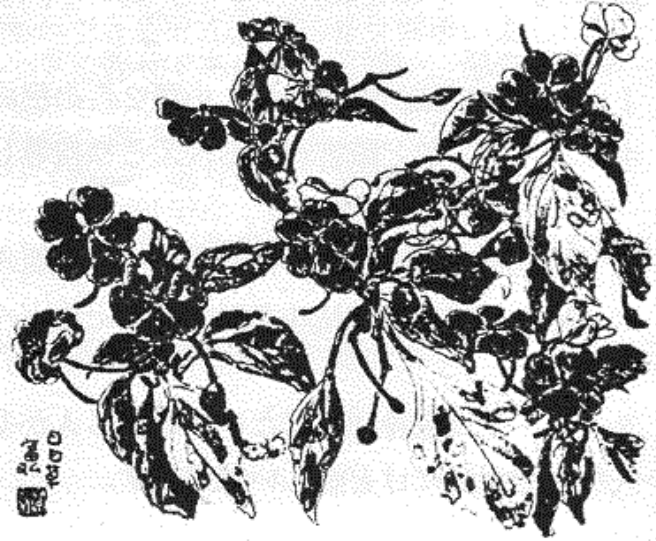
月曜日に来て頂いているボランティアの荒井さんに文化刺繍を教えてもらっています。文化刺繍をやるのは、初めてという人も2回目だという人もいましたが、皆それぞれに頑張っています

出来上がった作品は、アミーで販売していますのでぜひ、ご覧になって下さい。

また、文化刺繍を習いたい方は、月曜日（夢来夢来）へお寄り下さい。



今日のことも
悲しいこともあった
今日もまた一つ
うれしいこともあった
ケケ
たつたり じんたり
あまらぬたり
はくんだり あまらぬたり
はくんだり あまらぬたり
.....
んん？ これらの一つ一つを
柔らかに包んでくれた
おえがねなほど沢山の
平凡なことがあった



〔寄 贈〕 ありがとうございます。

こたつ	1台	高野 香 様
こたつ布団	1組	渋谷 明子 様
電気ストーブ	1台	網 裕子 様
毛 糸	並太9,5 ケ極太4ケ	中西 幸恵 様
糸		大森 加工 様
毛 糸		寒河江 千恵子 様

☆編集後記

今年も皆さんに喜ばれる様な「かわらばん」を作りたいと思っています。
皆さんご協力をお願いします。